

2017 年度

韓国派遣留学報告書

留学先：慶熙大学

留学期間：9月5日（火）～12月28日（木）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016003
青柳志歩

目次

- 1 留学先及び留学期間
 - 2 留学先概要
 - 3 留学目的
 - 4 留学内容
 - 4 - 1 留学のスケジュール
 - 4 - 2 留学の詳細
 - 5 所感
 - 6 おわりに
- 謝辞

付録

研修日誌

1. 留学先及び留学期間

留学先：慶熙大学

留学期間：平成29年9月5日（火）～12月28日（木）

2. 留学先概要

（1）慶熙大学について

慶熙大学は1949年に開校され、ソウル・スウォン・カンヌンの3つのキャンパスに20の単科大学、7学部、75学科、15専攻、及び一般大学院に加え、6つの専門大学院、9つの特殊大学院を備え、総合的な学術の殿堂を構築している。さらに、21世紀のグローバル時代をリードする大学という名にふさわしい大学として、世界78か国508校の大学と交流協定を締結している。

（2）大学で行われている教育について

韓国語は初級1・2、中級1・2、高級1・2まであり、読む・話す・書く・聞くの4技能のコミュニケーションを総合的に学ぶことができる。教室だけで行う授業だけでなく、オンラインを使用した授業も行う。また、留学生1人に対してキョンヒ大学の生徒1人がつき、韓国語や文化などについて教えてもらうことのできるトウミ（チューター）制度がある。

3. 留学目的

留学の目的は、まず文法・スピーキング・ヒアリングの向上である。日本にいただけでは3つの事は上達せず、留学をして外国人だけの環境になることによって韓国語の能力が今までよりも向上するのではないかと感じた。次に、様々な国の友達を作ることである。キョンヒ大学には78もの国から留学生がやってくるため、様々な国の友達を作って多くのコミュニケーションを図りたいと思い、留学することを決意した。

4. 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

4-1 留学のスケジュール

4-2 留学の詳細

9月6日（水）

時 間	内 容
9:00~9:30	オリエンテーション
9:30~11:00	クラス分け試験(口述試験)
11:00~11:20	広報ビデオ視聴
11:30~12:00	入校式
12:00~13:00	昼食
13:10~15:00	トウミとの懇談会

< 詳細 >

・オリエンテーション

オリエンテーションではこの先どのようなことをしていくのかを先生から説明を受けた。

・クラス分け試験（口述試験）

この試験は堅苦しいものではなく、先生と1:1で先生から質問をされたことに対して自分が出来る範囲の韓国語で答えていくというものであった。

・広報ビデオ視聴

キョンヒ大学についての説明ビデオを視聴した。

・入校式

新潟国際情報大学の生徒だけ参加し、チョ・ヒョンヨン学長によるお話を聞いた。

・トウミとの懇談会

1つのテーブルに国情の生徒2人とトウミ1人でお菓子を食べたりしながら一緒に話をした。この時に自分のトウミに会えた人もいれば、まだ会えない人達もいた。

9月7日～9月25日（国情生だけのクラスでの3週間授業）

月	日(曜日)	午 前		午 後
9	7(木)	文法授業	4 技能	
	8(金)	文法授業	4 技能	
	11(月)	文法授業	4 技能	セミナー
	12(火)	文法授業	4 技能	韓国事情(特講)
	13(水)	文法授業	4 技能	韓国の歌
	14(木)	現地学習1		
	15(金)	文法授業	4 技能	韓国の映画
	18(月)	文法授業	4 技能	韓国の映画
	19(火)	文法授業	4 技能	韓国事情(特講)
	20(水)	文法授業	4 技能	韓国の歌
	21(木)	現地学習2		
	22(金)	文法授業	4 技能	セミナー
	25(月)	文法授業	4 技能	韓国の映画

< 詳細 >

・文法授業

初級1のテキストを使いながら文法を学んでいく。1～2限は文法の授業で、3～4限も初級1のテキストを使って、読む・話す・書く・聞くのうちの中で1つ学び、毎日ローテーションさせていく。

・韓国の映画

韓国の映画を字幕なしで観た後に、どのような映画だったのか、登場人物の性格などをみんなで考えて話をする。例)「怪しい彼女」

・韓国事情(特講)

映像を見たりしながら韓国の礼儀、韓国の大衆文化について学ぶ。

・韓国の歌

先生が用意してくださった歌の中の歌詞の意味を考えたり、歌の内容に合わせた質問について考える。そしてみんなでその日に学んだ歌を歌う。

・セミナー

この時はそれぞれ決められたテーマに沿った内容について2人ないし3人で調べてくるテーマ・内容を決め、はじめは韓国の伝統祝日及び年中行事について発表。そのあとに先生がパワーポイントを使いながらより詳しい内容を説明してくださった。

・現地学習 1 (9月14日)

➡現地学習では様々な場所を訪れて韓国の文化に触れる体験をしたり、公演を見たりする

- ① 国立中央博物館 (旧石器時代～大韓帝国までの先人が遺した生活用品、芸術作品など様々な作品を鑑賞)
- ② 昼食 (食堂にてテンジャンチゲ、ポッサム、キムチなどを食べる)
- ③ ナンタ公演 (声を出さずに演技だけで繰り広げられる公演を鑑賞)
- ④ 南山ソウルタワー (南山ソウルタワーに上り、ソウルの景色を見る)

・現地学習 2 (9月21日)

- ① 文化体験 (葉か髪飾りのどちらかから選択し、糸を編んで飾りを作る)
- ② 青瓦台サランチェ観覧 (青瓦台館・幸福ヌリ館・韓国文化観光展示室・企画展示室にて現職大統領の活動の様子、観光文化、観光関連の映像や画像を見たり、インタラクティブ体験空間で韓流コンテンツを体験する)
- ③ 韓国料理体験 (プルコギ、ビビンバ、ジョンを実際に料理の先生から教わりながら作って食べる)
- ④ 青瓦台サランチェの外観を拝見
- ⑤ 韓服体験 (最初に韓服のレンタル屋さんへ行き、自分が着用したい韓服を選んだあとに髪を結んでもらう。そのあとに景福宮へ移動し、集合写真を撮ったり景福宮を観覧する)

9月26日～12月8日（正規課程）

月	日(曜日)	午 前		午 後	
9	26(火)	自己紹介	入校式	韓国事情(特講)	
	27(水)	文法授業	4 技能	韓国の歌	
	28(木)	文法授業	4 技能	セミナー	
	29(金)	文法授業	4 技能		
10	9(月)	文法授業	4 技能	韓国の映画	
	10(火)	文法授業	4 技能		
	11(水)	文法授業	4 技能	セミナー	
	12(木)	文法授業	4 技能	ハングル大会	
	13(金)	文法授業	4 技能		
	16(月)	文法授業	4 技能	韓国の映画	
	17(火)	文法授業	4 技能	韓国の遊び	
	18(水)	文法授業	4 技能	韓国の歌	
	19(木)	文法授業	4 技能	セミナー	
	20(金)	文法授業	4 技能		
	23(月)	文法授業	4 技能	韓国の映画	
	24(火)	文法授業	4 技能	韓国事情(特講)	
	25(水)	文法授業	4 技能	韓国の歌	
	26(木)	文法授業	4 技能	セミナー	
	27(金)	文法授業	4 技能		
	30(月)	文法授業	4 技能	韓国の映画	
31(火)	文法授業	4 技能	韓国事情(特講)		
11	1(水)	中間テスト1日目		韓国の歌	
	2(木)	中間テスト2日目			
	3(金)	文法授業	4 技能		
	6(月)	文法授業	4 技能		
	7(火)	文法授業	4 技能	韓国の歌	
	8(水)	文法授業	4 技能	テコンドー	
	9(木)	文法授業	4 技能	セミナー	
	10(金)	文法授業	4 技能	韓国の映画	
	13(月)	文法授業	4 技能	韓国の映画	
	14(火)	文法授業	4 技能		
	15(水)	現地学習 3(1日目)			
	16(木)	現地学習 3(2日目)			

	17(金)	文法授業	4 技能	セミナー
	20(月)	文法授業	4 技能	韓国の映画
	21(火)	文法授業	4 技能	書道
	22(水)	文法授業	4 技能	韓国の歌
	23(木)	文法授業	4 技能	
	24(金)	文法授業	4 技能	
	27(月)	文法授業	4 技能	韓国の映画
	28(火)	文法授業	4 技能	公演観覧(JUMP)
	29(水)	文法授業	4 技能	韓国の歌
	30(木)	文法授業	4 技能	セミナー
12	1(金)	文法授業	4 技能	
	4(月)	期末テスト 1 日目		
	5(火)	期末テスト 2 日目		K-POP ダンス
	6(水)	特別授業		韓国の歌
	7(木)	特別授業		韓国の映画
	8(金)	修了式(正規課程)		
	11(月)	TOPIK 授業		
	12(火)	TOPIK 授業		韓国事情(特講)
	13(水)	TOPIK 授業		韓国の歌
	14(木)	TOPIK 授業・セミナー		TOPIK 授業
	15(金)	韓国の映画・TOPIK 授業		TOPIK 授業
	18(月)	韓国の映画・TOPIK 授業		TOPIK 授業
	19(火)	TOPIK 授業		
	20(水)	韓国の歌・TOPIK 授業		TOPIK 授業
	21(木)	TOPIK 授業・修了式		韓国の歌
	22(金)	セミナー発表		
	23(土)	自由研修		
	24(日)			
	25(月)			
	26(火)			
	27(水)			
	28(木)	帰 国		

< 正規課程詳細 >

➡正規課程からは様々な国の生徒と一緒に韓国語を学んでいく。人数は1クラス約15人ほどである。午後の授業は基本的には月曜日が映画、火曜日が特講、水曜日が歌、木曜日がセミナー、金曜日は無しであった。

・文法授業、4技能

初級2のテキストを使用しながら授業を進めていく。授業は最初の3週間の授業のようであり、4技能も毎日ローテーションしながら学んでいく。

・特別授業

期末テストが終わった残りの2日間は特別授業で、1日目は自分が好きなお菓子などを持ってきてみんなで食べながら、同じクラスの友達1人1人に宛ててメッセージを書いていくローリングペーパーをした。2日目は先生から教わりながら折り紙を使って女性と男性の韓服を折った。この2日間は同じクラスの友達と仲が深まる良い授業である。

・韓国の映画

授業内容は先ほどの正規課程前の授業とほぼ同じで、字幕なしの映画やドラマを見た後にみんなで映画・ドラマの内容や登場人物の性格などを考えていく。

例)「トッケビ」「釜山行き」「ビューティーインサイド」「オオカミ少年」

・韓国事情（特講）

教授をお招きして、韓国の大衆文化・歴史・現代事情についてのお話を聴いた。この授業で韓国についてより理解を深めることができた。

・韓国の歌

自分が好きな韓国の歌をパワーポイントを使いながらみんなに紹介する。発表時間は1人約5分であった。歌を紹介した後は先生が用意してくださった質問について考えて友達に発表をし、最後にその日に習った歌をみんなで歌った。

・セミナー

授業の3回は正規課程前の授業のように2人1組で決められたテーマについて調べた内容をみんなの前で発表し、そのあとに先生がより詳しくその内容についてパワーポイントを使いながら説明をしてくださった。中間テスト以降は自分が研究したい内容を決めて、その内容について詳しく調べ、パワーポイントを作って最終日はみんなの前で出来上がった内容を韓国語で発表をした。

・TOPIK 授業

この授業では国情生だけで行われる授業で、実際に TOPIK の過去問を使いながら慶熙大学の先生 2 人から文法や問題の解き方などを教わった。国情生は最初 TOPIK I を受けたがある程度できたため、TOPIK II へと変更した。TOPIK II では読解・リスニングだけではなく、ライティングもあるため大変であると感じた。

・ハングル大会

高麗大学内の記念館まで徒歩で行き、関係者のお話を聴いた後に大会がスタートした。この大会はハングルをどれだけ綺麗に書けるかという大会で、参加者は慶熙大学に通う留学生だけではなく、他の大学からの留学生も参加していた。入選者を決めている間の時間は参加者全員でレクリエーションをしながら楽しんだ。綺麗に書けた人たちは名前を呼ばれ、景品や賞金を貰うことができた。

・韓国の遊び

この授業では慶熙大学の先生から韓国の伝統的な遊びを教わった。この時に遊んだのはチェギチャギ・コンギノリ・ユンノリと呼ばれる遊びで、この3つの遊びは意外と難しく授業内で習得することができなかった。

・書道

慶熙大学にある書道クラブへと訪問し、慶熙大学の学生から筆の持ち方やハングルの書き方を教わった。最後は1人1人習字紙に好きな4文字の言葉をハングルで書き集合写真を撮った。

・公演観覧 (JUMP)

あまり言葉を発さずに演技をしていき、観客もステージに上がって公演に参加をした。また、出演者が観客席にもやってきて観客を魅了させるパフォーマンスがあり、最後まで楽しんで見ることができる公演であった。

・K-POP ダンス

外国語大学の近くにあるダンス教室へと徒歩で行き、ダンスの先生と準備体操をした後に K-POP ダンスを学んだ。時間がなかったため、一曲分は踊ることができなかった。この時は RED VELVET の「Peek a boo」を踊った。

・現地学習3（11月15日～11月16日）

日程	時間	内容
1日目	9:00	出発
	12:30	昼食(きのこ鍋)
	14:00～17:00	ソラク山 登攀
	17:30	夕食(プルコギ)
	18:40	宿舎チェックイン
	19:30～21:00	レクリエーション
	23:00	就寝
2日目	7:30	朝食(ビュッフェ)
	9:00	宿舎チェックアウト
	10:40～11:50	江陵 見物(ヒュヒュアム・ソンギョジャン)
	13:00	昼食(野菜ビビンバ)
	14:00	出発
	17:30	ソウル到着

・自由研修

残りの5日間は自由時間で、行きたいところへ行ったり、ゆっくりしたり、帰るまで好きなことをできる期間である。

5. 当初目的・目標への達成度

今回の留学の目的への達成度について、それぞれまとめる。

(1) 語学力の向上

留学を経験してみて、リスニング力・コミュニケーション力・文法が身に付いたと改めて感じる事ができた。韓国に来た当初は先生や寄宿舎の管理人さんがおっしゃることをまだ理解することができなかったが、韓国語を学んでいくうちにだんだん聞き取ることができ、先生や管理人さんおっしゃる内容が理解できるようになったことは留学をしていて一番嬉しいことであった。また、同じクラスの友達に対して言いたいことを学んだ文法を使って一緒に会話をできたことも成長したと感じた。

(2) 異文化理解

留学を通して様々な国の人たちと関わり、正規課程では同じクラスに香港・マレーシア・ベトナム・タイ・インドネシア・スウェーデン・メキシコ人がいたため、授業の中でもそ

それぞれの国の文化を紹介したりして理解を深めた。中でも興味深かったのは同じクラスにマレーシア人が3人いたのだが、そのうちの2人は仏教で言語は中国語を話し、1人はヒンドゥー教であったためヒジャブと言われる布を巻いてマレー語を話していた。1つの国でも複数の宗教や言語が混在していて、正直留学をして出会わなければ知ることのできないことだったため、より異文化理解を深められたと感じた。

6. 課題・反省

4ヶ月という期間であったが、語学はもちろん異文化についてもより理解を深められたものとなった。だが、留学を通して生じた課題は単語力の少なさである。トウミなどとお話をするときに単語が分からずにトウミにうまく伝えることができないことが多々あった。また、TOPIKの授業の読解問題を解くときにも単語力が少ないために問題の内容を理解して解くことができなかった。そのため、もっと単語量を増やして単語力を身に付けたい。そして反省は、積極性の無さであった。実際に正規課程の授業の時などに先生から「日本人は他の国の学生と比べて静かである」と言われたことがあった。確かに日本以外の国の学生は分からないことがあったら積極的に質問をしていた。そこで積極性に欠けているのだと気づかされた。これからはこの2つの課題や反省を踏まえてもっと成長していきたいように努力していきたい。

謝辞

今回、慶熙大学国際教育院にて親切・丁寧な指導をしてくださったパクソニョン先生、韓国の生活面でサポートをしてくださった林りな先生、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また本学で韓国語を教えて下さった申銀珠先生、朴修禧先生、桜沢亜伊先生には心より感謝いたします。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、留学に参加できたことを心から感謝いたします。

付録（研修日誌）

今回、国情生の参加学生全員は毎週土曜日の午前の9月9日から11月25日までの2か月間、国立国楽院にて韓国の伝統楽器「チャング」を学びに通った。この楽器は見た目が日本にもある桶胴太鼓のような見た目をしており、クンチェとヨルチェといわれる撥を使って叩く楽器である。国情生は最終日に今までの成果をお客様に見てもらうために発表会に参加した。これは参加した人だけができない体験だったため、参加してこのような体験をできたことはとても嬉しく感じた。

～チャング発表会当日～



～慶熙大学～



～学食～



～南山ソウルタワーからの景色～



～ヒュヒュアム～



～ソングョジャン～

